

## 漢語系接辞「系」の意味・用法の変遷 —新聞の調査をもとに—

滑川 恭平

### <目次>

1. はじめに
2. 漢語系接辞の先行研究
- 2.1 漢語系接辞について
- 2.2 漢語系接辞「系」について
- 2.3 草食系男子
3. 漢語系接辞「系」の分析
- 3.1 調査対象
- 3.2 分析方法
- 3.3 年代による分析
- 3.3.1 「草食系男子」が掲載される前の分析
- 3.3.2 「草食系男子」が掲載される前後の分析
- 3.3.3 「草食系男子」が掲載された後の分析
- 3.4 語基による分析
- 3.4.1 典型例と品詞による分析
- 3.4.2 名詞 単体・複合の分析
- 3.4.3 名詞 単体の分析
4. 「草食系男子」の派生語と字義
5. 結論
6. 終わりに

### 1. はじめに

本稿では、漢語系接辞「系」について考察する。

2006年に『日経ビジネスオンライン』のコラム「U35男子マーケティング図鑑」に、「恋愛やセックスに積極的ではない男子」を指す言葉として「草食男子」というものが掲載された。掲載された時点で大きな話題とならなかったものの、2008年の『non-no』5月号で草食系男子に関する特集を組んだところ、「草食系男子」という言葉が世間に広く知れ渡り、翌年の2009年にユーキャン主催の「新語流行語大賞」トップ10にノミネートした。

この「草食系男子」という言葉がもたらしたのは、「男性=力強い」という等式に当てはまらない男子がいることの再認識のみならず、漢語系接辞「系」の使われ方にも大きな変化が現れた。

「草食系男子」を境に漢語系接辞「系」がどのように変化をしたのか、『朝日新聞データベース 聞蔵Ⅱ』を用いて「系」が使われた派生語が使われる年代、「系」に結合する語基という2つの観点から分析し、考察する。

## 2. 漢語系接辞の先行研究

語の形成を分析すると、語基と接辞に分けられることがある。語基は語の意味の中心をなす。加えて語形成の際にも変化しない部分、語のベースであり、そこに様々な接辞が付くことで語を形成するのである。接辞の中でも語形成の幅が広く様々な言葉を形成することが出来るものを、「造語力が強い」と定義する。

語基が接辞に結合するのには 2 つの方法がある。例として「食べる」という動詞を挙げる。この場合「食べ」が語基にあたり、そこに「ない」という接辞が付くことで否定の意味になり、「た」がつくことで過去を意味する。このように語基に接辞が付くことで、活用形が生まれる。これを活用と呼ぶ。もう 1 つは、語基「食べ」に接辞「方」がつくことで単語を形成するという事だ。これは「語構成」の 1 つであり「派生」と呼ぶ。本稿でとりあげる「～系」は、「派生」である。派生語の形成に当たっては漢字の接辞が多く用いられる。接辞の中でも特に漢字のものを漢語系接辞という。

漢語系接辞は造語力が非常に強いとされ、多くの研究がされてきた。その中で「草食系男子」を代表とした「系」について、草食系男子が出現する以前、する前後、した以降の語がどのように違うのかを述べる。

その前に、まず漢語系接辞について概観し、漢語系接辞「系」が結合する代表的な語である「草食系男子」に関して述べる。

### 2.1 漢語系接辞について

上述した通り、漢語系接辞は非常に造語力が強く、これに関して多くの研究がされてきた。

水野(1987)は語基を漢字の熟語に絞って漢語系接辞の特徴を分析し、造語力の強さが漢語系接辞を論じるにあたって最も重要だと述べた。加えて語基に漢語系接辞が結合することで、意味を添加するだけのものと、意味の添加だけでなく語基の文法的性格を変える、つまり語基の品詞が変わるものがあるとした。前者の例として「前」、後者の例として「性」を挙げている。例えば「会長」に「前」が結合することで「前会長」となる。「今の前の会長」という意味の添加が起こるが、品詞は「会長」「前会長」どちらも名詞である。一方「性」に関しては、「優秀」の後に「性」が結合することで「優秀性」となり、「優秀という性質を持つ」という意味になる。加えて「優秀」だと品詞は形容動詞だが、「性」が結合することで名詞に変化する。

水野は後者の例のように、意味の添加だけでなく品詞の変化が起こる語基を分類、その要素を分析した。

その中で体言化(結合したものを文の要素に変化させる)機能を持つ接辞、相言化(結合することで連体修飾の要素とする)機能を持つ接辞、用言化(結合することでサ変動詞へと変化させる)機能を持つ接辞の代表である「性・的・化」を取り出した。この 3 つの接辞性を国立国語研究所の新聞調査結果を用いて数や語構成を造語力、意味の形式化という 2 つの観点から考察し、「的」の接辞性が最も高く、「性」が最も低いという結果を示した。

加納(1990)は上記の結果に基づき、結合することで形容詞化させる機能を持つ漢語系接辞を分析した。

具体的にどのような語基と結合するのかというルールを概観した上で、水野(1987)が例として挙げた接辞が結合する語基やその意味を日本語教育の立場から考察している。

分析の例として「反・不・無・非」、「的」を取り上げ、結合の形式を<接辞+語基>→品詞という枠組みで表している。

曾睿(2012)は接辞の中でも「ひと、人間」を表す「者・家・人」を扱った。山下(2008)中の「合成語データベース」からこれらが結合した三字漢語を収集、前項と接辞に分けて意味概念を分類した上で、分析を行った。

結果として「者」は基本的に「人間」の意味を表し、消費者、愛国者など主に「ある動作、所有関係」などのような構成における関係を有する。「家」は政治家、専門家など「ある専攻分野/嗜好を有する人間」を意味する。「人(じん)」は日本人、芸能人など人間というより「人類」の意味が妥当とするもの、「生まれた土地、身分(所属する国、職業)」のような具体的な枠を規定するものが多いとした。

加えてデータベースの分析により「者」は、重複した語を省いて数えた異なり語数が134語あり、「家」83語、「人(じん)」41語と比較すると圧倒的に多いため、「者」は接辞性が最も高く、造語力が強いと言える。

また、「者・家・人」は「人間」を表す意味概念とすることを認めた上で、三字漢字における構造の中では「人間」という原義から離れ、それぞれが独特の意味カテゴリーを有することとなったと述べている

## 2.2 漢語系接辞「系」について

ここでは漢語系接辞「系」の俗語的な使い方の先行研究を述べる。

その前に、まずはいくつかの辞書における「系」の意味をここに示す。

「系の意味」

『大辞林』三省堂

①ある関係のもとにつながった統一体。体系。「一つの - をなす」 (以下省略)

『国語辞典 新版』 旺文社 1980年

(①省略)

②一つづきの関係・組織をもつもの。系統的な組織。「体系・大系・神経系・太陽系」

『デジタル大辞泉』

(1省略)

2 名詞に付いて、一つのまとまりのある関係にあることを表す語。「理科系に進む」「外資

系の企業」「太陽系」「銀河系」「MKS 単位系」  
(以下省略)

この3つの辞書に共通して書かれていることは、「関連のある1つのまとまった体系を表す」ということだ。

上記の例でいうと、「太陽系」は地球、火星、金星などを「太陽の周囲を一定の軌道で回る惑星」という体系を表している。「理科系」も科学、生物という分野が「理科」という1つの体系を成しているのが分かる。

このように、漢語系接辞「系」がついた結合語は、「関連のある1つのまとまった体系」という意味が含まれることとなる。これが「系」の持つ元々の字義なのである。

一方『デジタル大辞泉』には、以下のような説明が続いている。

[補説]俗語では2を発展させて、「ギャル系の話し方」「ビジュアル系バンド」「いかにも体育会系の若者」「癒(いや)し系」などと用いる。

辞書の説明にもある通り「系」の字義から派生し、「ギャル系」「ビジュアル系」など、「俗語」的な表現として使われるようになったのである。このような漢語系接辞を用いた俗語的な表現に関しての先行研究として中島(2010)を挙げる。

中島(2010)はブログなどの電子メディアにおいて、そこに現れる新語および臨時的に作られる語や語句を「新造語」と呼んでいる。その中でも漢語系接辞が使われている語も多く、例として「度」「系」「力」を挙げ、漢語接尾辞の造語力を意味の側面から考察している。その中で今回は調査対象である「系」に関する部分のみを扱う。

中島は漢語接尾辞「系」が婉曲表現として用いられることを挙げ、そこには2種類の動機があると指摘している。

1つ目は指示対象となるものに付与されがちなコノテーション(含意・言外の意味)を取り去るという動機だ。「肉体労働者」を「ガテン系」と言い換えることにより、前者が持つ3K(危険、汚い、きつい)のイメージが薄れ、たくましさに連なるポジティブな語感を持つ言い回しとなっていることを述べている。

2つ目は発話をあいまいにすることである。「ナチュラル系」と言えば、話者は「ナチュラル」が何かを明言せずにあいまいな意味合いで用いることで、解釈を聞き手にゆだねることができる。

また、新造語における「系」の意味を①新しいカテゴリーを名付ける②あるカテゴリーをその構成員のなかで最も典型的なものによって代表させる③カテゴリーのなかでも周辺的な構成員を焦点化する④発話内容そのものをあいまい化する、以上の4つに分類した。

①に関して、「系」が結合しない状態でも語基はカテゴリーを指示するが、「系」が結合することで別の新しいカテゴリーを指示するという意味変化がみられる。

例として大人系、絶叫系などを挙げている。大人系はそもそも「大人」が「子供」と対立する年齢区分を表すが、「大人」が持つ落ち着きというイメージ、そのような雰囲気をもつものがカテゴリーを構成することとなる。絶叫系はジェットコースターなど絶叫を誘発する娯楽、絶叫する歌手などを1つのタイプとしてまとめる言い方であると述べた。

②は典型的なカテゴリー成員が焦点化され、カテゴリーが再解釈されると述べている。例としてインディーズ系映画、アート系カフェを挙げている。「インディーズ」は元々、「映画」という大きなカテゴリーを構成するものの1つだ。そのカテゴリーの成員にクローズアップし、いかにもインディーズ特有の属性を持った内容の作品、いかにもインディーズらしい作品という解釈がなされるのである。アート系カフェは「カフェ」という大きなカテゴリーの中でも「芸術分野」というカテゴリーの意味だけでなく、インテリアのアート性や芸術イベントへ積極的に関わることも属性の1つになり、「アート」という属性を複合的にもつものに意味が特化していると述べた。

③はカテゴリーの周辺的な構成員を焦点化するため、②と対照的だと述べている。この意味で使われる「系」は「～っぽい」という形で解釈される。そのため、典型的な構成員ではなく、周辺的な構成員、近いながらも外延に含まれないものが焦点化される。

例として医療系の仕事を挙げ、この分野の最も典型的な職業は医者であるが、それ以外の医療事務などの職種を想起させ、「医療系」という広いカテゴリーを使うことから、このように解釈された。

④は「みたいな」「感じの」「ていうような」などと似た表現である。例として頑張っている系を挙げ、頑張っていない人と対比的なカテゴリーが想起されるところをあえて「系」を用いてカテゴリー名とするおかしみのある言い回しであるとともに、発話の緩衝や意味のぼかしを目的としたあいまい表現としても解釈できるとした。

このように「系」には4つの機能があり、「系」を用いる強い動機として表現をあいまい化する語用論的効果があるとした。

一方、山下(2015)は「国立国語研究所の『現代日本語書き言葉均衡コーパス』を用いて接尾辞「系」が含まれる派生語の多義構造を明らかにした。

まず山下は語基を分析した結果、(1)[[ ]<sub>VN</sub> - 系]<sub>N</sub> [Yする系] (2)[[ ]<sub>AN</sub> - 系]<sub>N</sub> [Yな(い・の)系] (3)[[ ]<sub>N</sub> - 系]<sub>N</sub> [Yの系] という3つの構造で表せることを示した。(1)はVN、つまり動作名詞(名詞の中でも「する」を後接することで動詞になるもの。例：帰化、渡来)が結合する。(2)はAN、つまり形容詞的名詞(セクシー、赤、ぼっちゃりなど、形容詞から「い」、形容動詞から「な」がそれぞれ取られたもの)が系に結合する。(3)はN、つまり名詞(固有名詞も含む)が系に結合する。つまり、語基がどのような品詞であっても「系」が結合することで名詞、あるいは名詞相当に変化するのだ。これは水野(1987)が述べた「意味の添加に加えて文法的性格を変えている」という説を裏付ける重要な点だ。

加えて、「X(人物)はY系だ」という文脈において、Xを何らかの視点から「Y系」とカテゴリー化するというプロセスの結果、比喩表現が創出されていると述べた。つまり派生語の

形成は全て比喻に関わる認知プロセスの関与で説明が可能なこと、特にメトニミーによる派生語の形成が生産的であることを明らかとした。

### 2.3 草食系男子

漢語系接辞である「系」が結合した語の中で近年世間を賑わせたものが、「草食系男子」であろう。

2009年にはユーキャンが主催する流行語大賞トップ10にノミネートした「草食系男子」の発端は『日経ビジネスオンライン』で深澤真紀が執筆している「U35 男子マーケティング図鑑」というコラムだ。

このコラムは1970年以降に生まれた世代を「U35男子(UNDER35)」と名付け、生態や行動原則、活用法などを考えていくものである。

2006年10月13日、「第5回 草食男子」の中で、かつて男性にとって恋愛とセックスは積極的か縁がないかの2つに分かれていたが、そういったものに縁がないわけではないのに積極的ではない男子を「草食男子」と名付けた。

今でこそ、様々な世代に認知されるようになった「草食男子」も、掲載された当初、この言葉が世間の人々に知られることはなかった。

「草食男子」が広がるきっかけとなったのが、女性ファッション雑誌『non-no』において深澤真紀監修の基に作られた「草食男子」の特集だ。この有名な雑誌に掲載されたことで、「草食男子」は世間に瞬く間に広まっていった。

続いて「草食男子」に漢語系接辞が結合した「草食系男子」という言葉が広まる発端は、森岡正博の著書『草食系男子の恋愛学』であった。この本は、恋愛に奥手な優しい男性が、どのように恋愛をすればいいのか、ということについて書かれている(が、この著書には「草食系男子」という言葉があとがきに1回掲載されたのみで、本文には一切掲載されていない)。その表紙には「黒縁の眼鏡をかけ、横縞のシャツを羽織った、どこことなくシャイなやせ形の男の子が弱々しそうに立っていた」<sup>1</sup>のである。漫画家である浅野いにおが描いたこの表紙のイラストは、「草食系男子」の姿のイメージがこのようなものだとすることを強く印象付けた。

余談だが、深澤は「草食男子」という言葉を一貫して使い続け、森岡はこの著書以降「草食系男子」を一貫して使い続けている。

結果として、当初深澤が提唱した「草食男子」の定義として、「恋愛やセックスに「縁がない」わけではないのに「積極的」、「肉欲」に淡々とした男子」<sup>2</sup>を指していたが、森岡の著書によって「やせ形で眼鏡をかけていて、フェミニンなテイストのおしゃれをする若い男性」<sup>3</sup>という意味が加わった。これに加えて森岡は、「男の風上にもおけない軟弱な男」<sup>4</sup>という蔑みを含んだ意味がこめられるようになったと述べている。

また、深澤は「草食男子」の対義語として「肉食女子」を挙げている。

今回の調査対象である『朝日新聞・デジタル』及び『AERA・週刊朝日』において、「草

「食系男子」が記事内に掲載されたもののうち、「草食系男子」とはどういう男子なのかという説明が書かれていたものを抜粋し、新聞ではどういった説明が書かれているのか、以下の表にまとめた。

年	月	日	草食系男子の説明
2009	5	10	淡泊、頼りない
2009	5	29	きゃしゃで甘い、丁寧
2009	6	1	大人しい、遠慮がち
2009	7	13	いざという時に決められない
2009	7	4	婚活 心優しくて、引っ込み思案
2009	7	15	モテないわけじゃないけど、恋愛にがつがつしない、男女関係をワリカンでとらえ、女友達を大切にする。引っ込み思案で心優しい。
2009	8	22	頼りない
2009	10	4	男気が少なくなった、積極的でなく、女性にリードされるような男性
2009	10	13	何事にも淡泊で、個人生活を大切にする若い男性
2009	10	20	恋愛に淡泊
2009	10	25	男らしい欲望に欠く
2009	11	20	セクシーな女性に対してひく
2009	11	25	恋愛に消極的
2009	12	6	異性に消極的
2010	1	15	優しいけれど物足りない
2010	1	20	人と深くかかわることが苦手
2010	2	6	新世代の優しい男性
2010	2	20	家庭志向で思いやりのある草食系男子も増えている
2010	2	26	今の若者は打たれ弱い、自分の意見を言わない
2010	7	10	異性との交際に消極的な若者
2010	7	10	細身でおしゃれだが、小食で体力がなく、同質性を求め、議論を避けたがる
2010	8	20	恋愛に不器用
2011	4	9	恋愛やセックスにガツガツせず男女関係をワリカンでとらえる男性
2011	5	8	女性的
2011	12	24	ゲーム機より重いものは持たない、恋愛に消極的、自分からデートに誘わず常に受身、休みは1人で過ごすのが好き
2012	6	12	繊細
2013	8	28	恋愛にガツガツしない
2013	10	29	心優しくて女性が苦手

図1 新聞・「草食系男子」の説明

2009	5	4	マイペースで恋愛にがっつかない マイペースで恋愛に引っ込み 思案な 20～30 代
2009	8	24	マイペースで恋愛に消極的、穏やかでござっぱりした身なり
2009	11	16	無理しない
2010	8	23	おっとりしていて物静か

図2 雑誌・「草食系男子」の説明

説明を見ると、圧倒的に「草食系男子」を蔑む説明が多い。いくつか深澤の定義らしいものが見受けられるが、「草食系男子」は男子を蔑む言葉として世間に定着しているようだ。

年代を見ると、2009年の記事が大半を占めている。「草食系男子」が初めて新聞に掲載されたのは2008年であり、そこから世間に徐々に広まる際に意味の説明が付加されていったのではないだろうか。

「草食男子」が登場する以前、男性＝力強いという等式が成り立っていた。しかし「草食系男子」の登場とその定義、そして森岡の著書の表紙にあるような、「草食系男子」の外見のイメージからはかつての力強さが感じられない。このことから、男性＝力強いという等式が成り立たない男子が生まれた。「草食系男子」＝弱々しい、という印象が生まれたのである。その結果、「草食系男子」を説明する際に弱々しいなど、蔑みの言葉が意味拡張していき、上記の表のような説明を生んだのではないかと考える。

このことから、「草食系男子」が掲載された当初は、男子の内面を切り取り、恋愛あるいはセックスに積極的でないことを指していたが、森岡の著書で外見に対するイメージ、続いて内面、外見両方の蔑みという意味が加わった。

以上の先行研究を踏まえ、『朝日新聞・デジタル』及び『AERA・週刊朝日』で人物を表す「系」の派生語の実例収集を行い、分析、考察を行う。

### 3 漢語系接辞「系」の分析

本稿では『朝日新聞記事データベース聞蔵Ⅱ』『朝日新聞・デジタル』及び『AERA・週刊朝日』の、人物を表す「系」を含んだ派生語を収集し、分析を行う。

なお、今回の調査は「新聞・雑誌」という社会的な記事を中心として扱っている媒体なので、語彙も社会的なものに偏ってしまうこと、そして「系」が結合する全ての派生語を調査するものではないことを付記しておく。

#### 3.1 調査対象

今回調査する対象は、人物を表す「系」を含んだ派生語の中でも特に「系男子」「系女子」に焦点を当てる。

実例収集においては『朝日新聞記事データベース 聞蔵Ⅱ』を用いて、朝日新聞および朝日新聞デジタル(以下新聞とする)、週刊朝日、AERA(以下雑誌とする)の記事内から「系男

子」「系女子」を含んだ派生語を抽出し分析、語構造や意味を考察する。

抽出にあたって「仏教系男子校」や「キリスト教系女子校」など、宗教学校に関する「系」を含んだ派生語がいくつか見受けられたが、今回の目的は「人物を表す系」についてなので分析からは除外する。

実例収集を行った期間は、下の図にまとめておく。この記事の期間に関しては、「系男子」「系女子」が初めて掲載された日を始まりとしている。

	朝日新聞・デジタル朝日	週刊朝日・AERA
系男子	1984年9月10日～2016年7月31日	1988年11月15日～2016年7月29日
系女子	1984年10月14日～2016年9月1日	1989年4月25日～2016年9月19日

図3 調査における実例収集を行った記事の期間

### 3.2 分析方法

分析は大きく分けて年代と語基、2つの観点から行う。

まず年代による分析は、どの時期にどのような語基の「系男子」「系女子」が使われていたのか、調査年を3つに区切り、「草食系男子」が現れて以降、どのように語基が変遷していったのかを分析していく。

次に語基による分析は、「系男子」「系女子」はそれぞれどのような語基に結合しているのか、品詞などを用いて3つの段階で分析する。

### 3.3 年代による分析

人物を表す「系」に関して、「草食系男子」が登場してから「系」が結合する語基に大きな変化が見られる。その変化を「聞蔵Ⅱ」を用いて「系男子」「系女子」が含まれた語を抽出し、年代順に一覧表にしたものを区切ることで示す。

	A 掲載される前	B 掲載される前後	C 掲載された後
系男子 新聞	1984年9月10日～ 2000年11月8日	2002年3月19日～ 2011年12月24日	2012年1月3日～ 2016年7月31日
系男子 雑誌	1988年11月15日～ 1997年3月3日	2002年3月8日～ 2011年12月30日	2012年1月2日～ 2016年7月29日
系女子 新聞	1984年10月14日～ 2000年11月8日	2001年5月16日～ 2011年12月11日	2012年1月1日～ 2016年9月1日
系女子 雑誌	1989年4月25日	2001年4月9日～ 2011年12月30日	2012年5月21日～ 2016年9月19日

図4 系男子と系女子の期間の区切り

区切る基準として、「系男子」に関しては「草食系男子」の初めての掲載、「系女子」に関しては「草食系男子」と対を成す「肉食系女子」を起点とする。

それに従って、年代を3つに区切った。まず調査開始年～20世紀終わりまでを「A 掲載

される前」とした。

次に「草食系男子」「肉食系女子」が掲載された前後 10 年を「B 掲載される前後」とした。「草食系男子」が掲載される B の年代では、A、C の年代とは違った語基の変化が見受けられた。そのため、より細かく分析をする必要がある。従って B の年代を「B-1」「B-2」「B-3」の 3 つに区切る。区切る基準に関しては、後に詳しく述べる。

最後に B の年代の終わりから、調査の終わりの年までを「C 掲載された後」とした。

「系女子」の雑誌(1)に関しては、該当するものが 1 つしかなかったため、このような表示になっている。

また、「系」に接続する語基に関しては後ほど述べるので、ここではあくまで年代順の変化を追い、適宜語基に関して触れることとする。

### 3.3.1 「草食系男子」が掲載される前の分析

A を分析すると、「系男子」「系女子」共に文系や理系や、事務、など人物の中でも特に「学生」を指すものが多く見受けられる。また、記事の内容も就職に関するものがほとんどであった。

理由としては、当時世の中はバブルの絶頂期であり、高校生、大学生の就職先に注目が集まった時期であった。当然新聞でも、彼らがどのような専門を学んだ上でどのような会社に就職するかを調査しており、高校を卒業したのか、大学を卒業したのかを分類するため、高校卒、大学卒といった「卒業」に関するものが多く見受けられると推測する。

こういった、「草食系男子」以前に存在した、「系」の字義の通り「関連のある 1 つのまとまった体系」を表すものを「典型例」と呼ぶ。

つまり、「系女子」「系男子」ともに「草食系男子」「肉食系女子」が現れる以前は「文系」や「理系」といった、典型例に分類できるものがほとんどを占めていたということになる。

年	月	日	系男子
1985	5	14	技術系男子
1985	8	11	大卒技術系男子
1985	8	11	大卒事務系男子
1985	8	11	文科系男子
1985	8	19	事務系男子
1985	9	10	事務系男子
1985	9	11	大卒事務系男子
1985	9	11	事務系男子
1985	9	27	技術系男子
1986	7	21	技術系男子

図 5 新聞に「草食系男子」が掲載される前 (A の範囲から一部抜粋)

年	月	日	系男子
1988	11	15	国立大文系男子
1988	11	15	国立大理工系男子
1993	10	5	技術系男子
1994	3	21	文系男子
1994	3	21	理系男子
1996	8	15	文科系男子
1996	8	15	文科系男子
1996	8	15	理科系男子
1996	8	15	理科系男子
1996	9	30	文科系男子

図 6 雑誌に「草食系男子」が掲載される前 (A の範囲から一部抜粋)

年	月	日	系女子
1984	10	14	技術系女子
1984	12	28	技術系女子大学生
1985	8	5	技術系女子
1985	9	10	事務系女子
1985	9	11	高校卒事務系
1985	9	11	大卒事務系女子
1985	9	11	短大卒事務系女子
1986	3	30	技術系女子
1986	10	13	大卒技術系女子
1988	7	11	技術系女子

図7 新聞に「肉食系女子」が掲載される前  
(Aの範囲から一部抜粋)

年	月	日	系女子
1989	4	25	文系女子

図8 雑誌に「肉食系女子」が掲載される前  
(Aの範囲から一部抜粋)

### 3.3.2 「草食系男子」が掲載される前後の分析

ここでは、「草食系男子」がきっかけとなり、漢語系接辞「系」に結合する語基に大きな変化が現れた様子を追っていく。

まず分析に入る前に、「B掲載される前後」の年代の区切りに関して言及する。

結論を先に述べてしまうと、「Bの年代の範囲内」で「草食系男子」が掲載される前と後の語基の違いが如実に表れているのである。しかし、掲載される前と後は既にA、Cとして区切っている。従ってそれらと重複しないために「Bの年代の範囲内」という条件をつけて、範囲内の「草食系男子が掲載される前」を「B-1」とし、範囲内の「草食系男子が掲載された後」を「B-3」として、既出のAとCと区別する。そして、B-1とB-3の間である、まさに「草食系男子」が掲載された年代の区切りをB-2とする。

「草食系男子」が初めて新聞に掲載されたのは、2008年9月13日であった。まずは「草食系男子」が掲載される前であるB-1を見てみる。

男女共に典型例がほとんどを占めているが、アキバ、コギャルなどいくつか典型例に分類できないものが出てきた。つまり「草食系男子」が掲載されるB-2以前に、典型例とは違った「系」の使い方がされていたのである。これが中島(2010)のいう「系」の「新造語」であるといえる。

年	月	日	系男子
2002	3	19	文系男子
2003	2	5	3系男子
2003	2	5	体育系男子
2003	2	14	文系男子
2003	2	19	3系男子
2004	2	19	3系男子
2004	2	29	理系男子
2006	9	21	文系男子
2007	1	12	文系男子
2007	1	12	理系男子

図9 新聞に「草食系男子」が掲載される前(B-1の範囲から一部抜粋)

年	月	日	系男子
2006	9	18	男系男子
2006	9	18	男系男子
2006	9	18	男系男子
2006	9	18	男系男子
2006	9	18	男系男子
2006	9	18	男系男子
2006	9	22	男系男子
2006	9	25	男系男子
2006	9	25	男系男子
2006	10	9	アキバ系男子
2006	12	4	男系男子

図10 雑誌に「草食系男子」が掲載される前(B-1の範囲から一部抜粋)

年	月	日	系男子
2001	5	16	男系女子
2001	8	22	コギャル系女子
2003	10	4	文系女子
2004	2	29	文系女子
2005	5	1	女系女子
2005	5	1	男系女子
2005	6	25	ギャル系女子
2005	7	21	男系女子
2005	9	30	直系女子
2005	10	6	直系女子

図11 新聞に「肉食系女子」が掲載される前(B-1の範囲から一部抜粋)

年	月	日	系男子
2005	2	14	ゆっくり系女子
2006	5	13	文化系女子
2006	5	13	文化系女子
2006	5	13	文化系女子
2006	5	13	文化系女子
2006	5	13	「モテ」系文化系女子
2006	5	13	文化系女子
2006	5	13	文化系女子
2006	5	13	文化系女子
2006	5	13	東池袋系女子

図12 雑誌に「肉食系女子」が掲載される前(B-1の範囲から一部抜粋)

続いて B-2 を分析する。

「系男子」では「草食系男子」を、「系女子」では「肉食系女子」を中心に前後 5 件ずつを抜粋してみると、掲載される前はいわゆる典型例が多いが、「草食系男子」が掲載されて以降、「系」の字義である「関連のある 1 つのまとまった体系」から離れた使い方を行っているものが特に「系男子」に多く見受けられる。これらの語基の分析は後ほどするが、「系」に結合する語基の種類に大きな影響を与えているのは間違いないだろう。

「草食系男子」「肉食系女子」が掲載される以前は典型例として学生や専門、職業が語基として結合していたが、「草食系男子」が掲載される前後を見ると、アキバ、オラにゃん、

お洒落など典型例とは違うものもあり、品詞も様々だ。

掲載された順番を見ると、2008年9月13日、「系男子」の新聞を発端とし、「系男子」の雑誌→「系女子」の新聞→「系女子」の雑誌であった。つまり「草食系男子」「肉食系女子」の掲載の前に多少典型例から外れた「系」の使い方がされているものがいくつか見られたが、「草食系男子」「肉食系女子」の掲載語、典型例がほとんどを占めていたものが、新造語と典型例が数的にほぼ同程度になった。

年	月	日	系男子
2007	1	12	理系男子
2007	4	11	乙女系男子
2008	1	11	文系男子
2008	6	21	文系男子
<b>2008</b>	<b>9</b>	<b>13</b>	<b>草食系男子</b>
2008	10	24	草食系男子
2008	11	14	福祉系男子
2009	1	6	草食系男子
2009	4	26	草食系男子
2009	4	28	アキバ系男子

図13 新聞に「草食系男子」が掲載される前後(B-2の範囲より一部抜粋)

年	月	日	系男子
2007	8	24	オラにゃん系男子
2008	3	31	男系男子
2009	1	26	文系男子
2009	1	26	文系男子
2009	3	2	文科系男子
<b>2009</b>	<b>3</b>	<b>30</b>	<b>草食系男子</b>
2009	4	27	スイーツ系男子
2009	5	4	偽装草食系男子
2009	5	4	草食系男子
2009	5	4	草食系男子

図14 雑誌に「草食系男子」が掲載される前後(B-2の範囲より一部抜粋)

年	月	日	系女子
2007	12	3	理系女子
2007	12	14	理系女子
2008	7	29	モテ系女子
2009	3	8	理工系女子
2009	6	7	理系女子
<b>2009</b>	<b>8</b>	<b>10</b>	<b>肉食系女子</b>
2009	8	26	理系女子
2009	8	26	理系女子
2009	9	13	肉食系女子
2009	9	18	肉食系女子

図15 新聞に「肉食系女子」が掲載された年(B-2の範囲より一部抜粋)

年	月	日	系女子
2007	1	22	お洒落系女子
2007	5	4	男系女子
2008	6	9	文系女子
2008	11	10	理系女子
2009	9	11	体育会系女子
<b>2009</b>	<b>10</b>	<b>2</b>	<b>肉食系女子</b>
2010	1	18	理系女子
2010	1	18	文系女子
2010	1	18	理系女子
2010	6	14	草食系女子

図16 雑誌に「肉食系女子」が掲載された年(B-2の範囲より一部抜粋)

上の表の太字は「系男子」では「草食系男子」が、「系女子」では「肉食系女子」がそれぞれ初めて新聞・雑誌に掲載された日付となっている。

最後に B-3 に関しては、典型例は数件しか見受けられず、ほとんどが「草食系男子」に端を発した新造語に取って代わられている。

B-3 は次の C と内容が重複するので、詳しくはそこで言及する。

### 3.3.3 「草食系男子」が掲載された後の分析

「草食系男子」が掲載されて以降、「系」に結合する語基が大きく変化した。これは B-3 でも同じことがいえるので、その内容も含めてここで述べる。

年	月	日	系男子
2014	2	28	草食系男子
2014	3	6	肉食系男子
2014	3	6	肉食系男子
2014	4	15	体育会系男子
2014	6	13	男系男子
2014	6	13	理系男子
2014	6	19	体育会系男子
2014	6	26	男系男子
2014	9	1	草食系男子
2014	9	21	理系男子

図 17 新聞・「系男子」が掲載された年(C の範囲より一部抜粋)

年	月	日	系男子
2014	2	28	草食系男子
2014	2	28	体育会系男子
2014	2	28	文系男子
2014	6	13	男系男子
2014	9	1	草食系男子
2015	2	9	理系男子
2015	8	21	理系男子
2016	2	8	草食系男子
2016	3	25	草食系男子
2016	5	16	理系男子

図 18 雑誌・「系男子」が掲載された年(C の範囲より一部抜粋)

年	月	日	系男子
2014	7	18	理工系女子
2014	7	26	肉食系女子
2014	8	23	理系女子
2014	9	30	住職系女子
2014	10	16	理系女子
2014	10	18	理系女子
2014	10	23	理系女子
2014	10	29	地味系女子
2014	11	9	理系女子
2014	11	12	理系女子

図 19 新聞・「系女子」が掲載された年(C の範囲より一部抜粋)

年	月	日	系男子
2013	7	5	文系女子
2013	9	27	ゆるふわ系女子
2014	2	14	理系女子
2014	2	14	理系女子
2014	4	18	理系女子
2014	12	22	土木系女子
2015	2	9	理系女子
2015	8	31	乾燥系女子
2015	11	23	理系女子
2015	11	23	理系女子

図 20 雑誌・「系女子」が掲載された年(C の範囲より一部抜粋)

まず「系男子」から見ると、雑誌ではいくつか典型例が見受けられるが、ほとんどが新造語となっている。つまり C の年代は、「草食系男子」に始まった新造語が典型例の数を上回ったと言える。

続いて「系女子」だが、新造語も見受けられるが、どちらかという典型例である理系女子が多い。要因として、元理化学研究所員の小保方晴子に代表される「理系女子」が話題となったため、このような結果となった。

「系男子」は「草食系男子」の影響を大きく受け、「系」に結合する語基が大きく変化している。一方「系女子」に関しては典型例が見受けられるものの、理系女子といった典型例も同程度見られる。これは調査対象が新聞であり、よくも悪くも当時の社会的な情勢を反映してしまう。その結果がこうした語基に現れているのだと推測する。

次に、これまで A～C の年代区分を見てきたが、あくまで一部であった。そこで典型例と新造語の掲載された数を表にし、そこからどの程度変化したのかを見ていく。典型例と新造語は、表の太い線で区別した。それより上を典型例、それより下を新造語とした。

「系男子」の変移を見ると、A では上述した通り典型例が圧倒的に多いが、B の年代になると、典型例の数が極端に減り、新造語が少しずつ見受けられた。C の年代になると、その差は圧倒的だ。特に「高卒・大卒」が結合した語基や「事務・技術」など職種が結合した典型例は 2000 年以降使われていないことが判明した。

しかし、典型例が使われなくなったわけではなく、数としては A の年代に比べて少なく、種類は減ったものの C の年代でも使われている。それらは「男系、直系」など、天皇の皇位継承に関するもの、「文系、理系」といった学業の専門を表す基礎的なものの 2 種類に大別できる。

男系や理系が年を追う毎に増えているのは、天皇の皇位継承に関するものや、元々は専門を表していたものだが「草食系男子」のように「理系のような性格、見た目」から「理系男子」という言葉が登場したからである。

「草食系男子」が掲載されて以降、新造語に関しては表を見ても分かる通り、様々な品詞が結合している。これが水野(1987)の述べた漢語系接辞の特徴である「造語力の強さ」の表れなのである。

年代によって分析すると、「草食系男子」が掲載される以前は学生・あるいは学生が就いた職業を表す語基が結合していた。しかし「草食系男子」の掲載によって、それまで使われていた典型例に代わり、新造語が数を占めていることが分かった。対象も典型例のような学生に限らず、世間にいる男子・女子を指しているため、使うことができる幅が広がったといえる。

言葉というものは日々変化し、使われないものは徐々に廃れていくものだ。そのきっかけが「草食系男子」にあったことが伺える。また、調査対象が新聞であるため、当時の社会の状況が色濃く残るものである。従って、当時は使っていたが、今は使う必要がない言葉が

典型例の中に多く存在したのかもしれない。

系の語基	A	B	C
3系	0	3	0
技術系	11	0	0
高学歴理系男子	0	0	1
高校卒事務系男子	1	0	0
高卒技能系男子	3	0	0
高卒事務系男子	1	0	0
高卒生産技術系男子	1	0	0
国立大文系	0	0	0
国立大理工系	0	0	0
事務系	10	0	0
事務販売系	1	0	0
人文科学系	1	0	0
大学卒技術系	1	0	0
大学卒事務系	1	0	0
大卒技術系	3	0	0
大卒事務系	6	0	0
男系	0	2	25
直系	0	0	0
文化系	1	1	1
文科系	6	0	0
文系	12	9	4
理科系	1	0	0
理系	5	5	26

系の語基	A	B	C
理工系	1	0	0
理数系	0	1	0
看護系	1	0	0
魚食系	0	0	3
雑食系	0	1	0
絶食系	0	0	3
装飾系	0	1	0
釣り系	0	0	1
燃烧系	0	0	1
モテ系	0	0	1
アート系	0	0	1
アキバ系	0	3	0
オタク系	0	0	0
乙女系	0	1	0
オラにゃん系	0	0	0
果実系	0	1	0
柑橘系	0	0	2
偽装草食系	0	0	0
技能系	1	0	0
首痛めてる系	0	0	1
経済系	1	0	0
ジャニーズ系	0	1	0
植物系	0	0	1

系の語基	A	B	C
スイーツ系	0	0	0
草食系	0	137	65
走力系	0	1	0
体育会系	0	0	4
脱・草食系	0	1	0
超・肉食系	0	0	2
直球系	0	1	0
東大理系	0	0	1
肉食系	0	5	4
ネコ系	0	0	0
非モテ系	0	0	0
福祉系	0	1	0
保育系	0	1	0
野球系	0	6	0
柳系	0	1	0
ロールキャベツ系	0	1	0
可愛い系	0	0	1
クリーミー系	0	0	0
コンサバ系	0	0	0
チャラ系	0	0	3
まじめ系	0	0	2

図 21 新聞・「系男子」の語基一覧と掲載数の変移

系の語基	A	B	C
3系	0	0	0
技術系	1	0	0
高学歴理系男子	0	0	0
高校卒事務系男子	0	0	0
高卒技能系男子	0	0	0
高卒事務系男子	0	0	0
高卒生産技術系男子	0	0	0
国立大文系	1	0	0
国立大理工系	1	0	0
事務系	0	0	0
事務販売系	0	0	0
人文科学系	0	0	0
大学卒技術系	0	0	0
大学卒事務系	0	0	0
大卒技術系	0	0	0
大卒事務系	0	0	0
男系	0	59	3
直系	0	3	0
文化系	0	1	2
文科系	3	1	0
文系	3	8	1
理科系	2	0	0
ジャニーズ系	0	1	0

系の語基	A	B	C
理系	2	3	5
理工系	0	0	0
理数系	0	0	0
看護系	0	0	0
魚食系	0	0	0
雑食系	0	0	0
絶食系	0	0	1
装飾系	0	0	0
釣り系	0	0	0
燃焼系	0	0	0
モテ系	0	0	1
アート系	0	0	0
アキバ系	0	1	0
オタク系	0	1	0
乙女系	0	0	0
オラにゃん系	0	1	0
果実系	0	0	0
柑橘系	0	0	0
偽装草食系	0	1	0
技能系	0	0	0
首痛めてる系	0	0	0
経済系	0	0	0

系の語基	A	B	C
植物系	0	0	0
スイーツ系	0	1	0
草食系	0	31	10
走力系	0	0	0
体育会系	0	2	1
脱・草食系	0	0	0
超・肉食系	0	0	0
直球系	0	0	0
東大理系	0	0	0
肉食系	0	3	1
ネコ系	0	0	2
非モテ系	0	1	0
福祉系	0	0	0
保育系	0	0	0
野球系	0	0	0
柳系	0	0	0
ロールキャベツ系	0	0	0
可愛い系	0	0	0
クリーミー系	0	1	0
コンサバ系	0	1	0
チャラ系	0	0	0
まじめ系	0	0	0

図 22 雑誌・「系男子」の語基一覧と掲載数の変移

系の語基	A	B	C
工学系	0	0	1
工業系	0	1	0
高校卒事務系	1	0	0
高卒技能系	1	0	0
高卒事務系	3	0	0
国文大文系	1	0	0
事務系	12	0	0
大学生文系	0	0	0
大卒技術系	1	0	0
大卒事務系	4	0	0
大卒文系	1	1	0
大卒理系	1	0	0
他大文系	0	0	1
男系	0	4	0
短大卒事務系	2	0	0
直系	0	2	0
土木工学系	0	3	0
日系	4	0	0
文化系	0	0	4
文科系	2	3	0
文系	12	8	9
理科系	0	0	1
理系	8	31	118
理工系	0	1	4

系の語基	A	B	C
一般事務系 女子	1	0	0
格闘系	0	0	1
乾燥系	0	0	0
頑張る系	0	0	0
ゴミ拾い系	0	0	3
疲れる系	0	0	1
萌え系	0	0	2
モテ系	0	1	1
ゆっくり系	0	0	0
ゆるふわ系	0	0	0
「モテ」系文 化系	0	0	0
アジア系	1	0	0
兄貴系	0	0	1
アルペン系	0	0	1
医療系	1	0	0
運動部系	0	0	1
映画系	0	0	1
オタク系	0	1	0
お日様系	0	2	0
元祖・肉食系	0	0	2
元祖肉食系	0	0	2
技術系	9	0	0
ギャル系	0	1	0
コギャル系	0	1	0

系の語基	A	B	C
ゴスロリ系	0	1	0
山岳系	0	1	0
住職系	0	0	1
女系	0	1	0
スピード系	3	0	0
炭系	0	0	4
全身理系	0	0	1
草食系	0	1	0
体育会系	0	1	0
男子系	0	1	0
土木系	8	3	3
肉食系	0	18	19
農系	0	0	0
東池袋系	0	0	0
ひねくれ文化 系	0	0	1
ブランド系	0	0	0
負け犬系	0	0	0
ものづくり系	0	0	1
ロールキャベ ツ系	0	1	0
お洒落系	0	0	0
オシャレ系	0	0	1
ガーリー系	0	0	1
地味系	0	0	1
ナチュラル系	0	0	2

図 23 新聞・「系女子」の語基一覧と掲載数の変移

系の語基	A	B	C
工学系	0	0	0
工業系	0	0	0
高校卒事務系	0	0	0
高卒技能系	0	0	0
高卒事務系	0	0	0
国文大文系	0	0	0
事務系	0	0	0
大学生文系	1	0	0
大卒技術系	0	0	0
大卒事務系	0	0	0
大卒文系	0	0	0
大卒理系	0	0	0
他大文系	0	0	0
男系	0	2	0
短大卒事務系	0	0	0
直系	0	0	0
土木工学系	0	0	0
日系	0	0	0
文化系	0	14	1
文科系	0	0	0
文系	2	5	4
理科系	0	0	0
理系	1	9	17
理工系	0	0	0

系の語基	A	B	C
一般事務系 女子	0	0	0
格闘系	0	0	0
乾燥系	0	0	1
頑張る系	0	0	1
ゴミ拾い系	0	0	0
疲れる系	0	0	0
萌え系	0	0	0
モテ系	0	0	0
ゆっくり系	0	1	0
ゆるふわ系	0	0	1
「モテ」系文 化系	0	1	0
アジア系	0	0	0
兄貴系	0	0	0
アルペン系	0	0	0
医療系	0	0	0
運動部系	0	0	0
映画系	0	0	0
オタク系	0	0	0
お日様系	0	0	0
元祖・肉食系	0	0	0
元祖肉食系	0	0	0
技術系	0	0	0
ギャル系	1	1	0
コギャル系	0	0	0

系の語基	A	B	C
ゴスロリ系	0	0	0
山岳系	0	0	0
住職系	0	0	0
女系	0	0	0
スピード系	0	0	0
炭系	0	0	0
全身理系	0	0	0
草食系	0	2	0
体育会系	0	1	0
男子系	0	0	0
土木系	0	0	4
肉食系	0	5	1
農系	0	0	6
東池袋系	0	4	0
ひねくれ文 化系	0	0	0
ブランド系	1	1	0
負け犬系	2	2	0
ものづくり系	0	0	0
ロールキャベ ツ系	0	0	0
お酒落系	0	1	0
オシャレ系	0	0	0
ガーリー系	0	0	0
地味系	0	0	0
ナチュラル系	0	0	0

図 24 雑誌・「系女子」の語基一覧と掲載数の変移

### 3.4 語基による分析

次に、中島(2010)の系の新しい意味で挙げられた4つの例を基に、「系男子」「系女子」が結合した語基の分析を行う。

分析は(1)典型例と新造語による分析 (2)単体か複合かの分析 (3)名詞の種類分け 以上の3つの段階で行う。それぞれどのような分析を行うかは、それぞれの分析の項にて説明する。

#### 3.4.1 典型例と品詞による分析

分析に入る前に、語基にはどのようなものがあるのかをまとめたものが、以下の表である。

系の語基	分類	系の語基	分類	系の語基	分類
3系	典型例	理工系	典型例	肉食系	名詞
技術系	典型例	理数系	典型例	ネコ系	名詞
高学歴理系男子	典型例	アート系	名詞	非モテ系	名詞
高校卒事務系男子	典型例	アキバ系	名詞	福祉系	名詞
高卒技能系男子	典型例	オタク系	名詞	保育系	名詞
高卒事務系男子	典型例	乙女系	名詞	野球系	名詞
高卒生産技術系男子	典型例	オラにゃん系	名詞	柳系	名詞
国立大文系	典型例	果実系	名詞	ロールキャベツ系	名詞
国立大理工系	典型例	柑橘系	名詞	看護系	動詞
事務系	典型例	偽装草食系	名詞	魚食系	動詞
事務販売系	典型例	技能系	名詞	雑食系	動詞
人文科学系	典型例	経済系	名詞	絶食系	動詞
大学卒技術系	典型例	ジャニーズ系	名詞	装飾系	動詞
大学卒事務系	典型例	植物系	名詞	釣り系	動詞
大卒技術系	典型例	スイーツ系	名詞	燃焼系	動詞
大卒事務系	典型例	草食系	名詞	モテ系	動詞
男系	典型例	走力系	名詞	可愛い系	形容
直系	典型例	体育会系	名詞	クリーミー系	形容
文化系	典型例	脱・草食系	名詞	コンサバ系	形容
文科系	典型例	超・肉食系	名詞	チャラ系	形容
文系	典型例	直球系	名詞	まじめ系	形容
理科系	典型例	東大理系	名詞	首痛めてる系	句・文
理系	典型例				

図 25 系男子の語基一覧

系の語基	分類	系の語基	分類	系の語基	分類
工学系	典型例	「モテ」系文化系	名詞	肉食系	名詞
工業系	典型例	アジア系	名詞	農系	名詞
高校卒事務系	典型例	兄貴系	名詞	東池袋系	名詞
高卒技能系	典型例	アルペン系	名詞	ひねくれ文化系	名詞
高卒事務系	典型例	医療系	名詞	ブランド系	名詞
国文大文系	典型例	運動部系	名詞	負け犬系	名詞
事務系	典型例	映画系	名詞	ものづくり系	名詞
大学生文系	典型例	オタク系	名詞	ロールキャベツ系	名詞
大卒技術系	典型例	お日様系	名詞	格闘系	動詞
大卒事務系	典型例	元祖・肉食系	名詞	乾燥系	動詞
大卒文系	典型例	元祖肉食系	名詞	頑張る系	動詞
大卒理系	典型例	技術系	名詞	ゴミ拾い系	動詞
他大文系	典型例	ギャル系	名詞	疲れる系	動詞
男系	典型例	コギャル系	名詞	萌え系	動詞
短大卒事務系	典型例	ゴスロリ系	名詞	モテ系	動詞
土木工学系	典型例	山岳系	名詞	お洒落系	形容
直系	典型例	住職系	名詞	オンシャレ系	形容
日系	典型例	スピード系	名詞	ガーリー系	形容
文化系	典型例	炭系	名詞	地味系	形容
文科系	典型例	全身理系	名詞	ナチュラル系	形容
文系	典型例	草食系	名詞	ゆっくり系	副詞
理科系	典型例	体育会系	名詞	ゆるふわ系	副詞
理系	典型例	男子系	名詞		
理工系	典型例	土木系	名詞		

図 26 系女子の語基一覧

新聞及び雑誌に掲載された、「系男子」を含む語は合計 567 個あり、そのうち重複した語を省いて数えた異なり語数は 67 個であった。同じく「系女子」を含む語は計 441 語、異なり語数は 71 語であった。

語基を概観した上で、上述した通り、これらを 3 つの段階に分けて分類していく。

まず語基を「典型例」と「新造語」に分類した。「典型例」とは年代の分析でも述べた通り、「文系」「理系」「事務系」など、どのような専門を勉強したのか、どの教育機関に所属していたのか、どのような職業に就いたのかを表す語基の事を指している。これは「草食系男子」が現れる以前にあった語基であり、「系」の字義である「関連のある 1 つのまとまった体系」を表していると考え、典型例とした。

系の語基	分類	系の語基	分類
事務系	単体	高学歴理系	複合
技術系	単体	高校卒事務系	複合
3系	単体	高卒技能系	複合
人文科学系	単体	高卒事務系	複合
文化系	単体	高卒生産技術系	複合
文科系	単体	国立大文系	複合
文系	単体	国立大理工系	複合
理科系	単体	事務販売系	複合
理系	単体	大学卒技術系	複合
理工系	単体	大学卒事務系	複合
理数系	単体	大卒技術系	複合
男系	単体	大卒事務系	複合
直系	単体		

図 27 系男子 典型例の分類

系の語基	分類	系の語基	分類
事務系	単体	高校卒事務系	複合
工学系	単体	高卒技能系	複合
工業系	単体	高卒事務系	複合
女系	単体	国文大文系	複合
文化系	単体	大学生文系	複合
文科系	単体	大卒技術系	複合
文系	単体	大卒事務系	複合
理科系	単体	大卒文系	複合
理系	単体	大卒理系	複合
理工系	単体	他大文系	複合
男系	単体	短大卒事務系	複合
直系	単体	土木工学系	複合
日系	単体		

図 28 系女子 典型例の分類

まず典型例から見ると、文系、理系など専門の科目や事務系など職業を表す語基があるが、いくつかの語に分けられるものがあつた。従つて、それ以上分けることができない「単体」と、いくつかの語に分けることが可能な「複合」に分類した。

系の語基	語基の分解	分析
高学歴理系	高学歴+理系	学歴+専門
高校卒事務系	高校卒+事務系	卒業+職業
高卒技能系	高卒+技能系	卒業+職業
高卒事務系	高卒+事務系	卒業+職業
高卒生産技術系	高卒+生産技術系	卒業+職業
国立大文系	国立大+文系	教育機関+専門
国立大理工系	国立大+理工系	教育機関+専門
事務販売系	事務+販売系	職業+職業
大学卒技術系	大学卒+技術系	卒業+職業
大学卒事務系	大学卒+事務系	卒業+職業
大卒技術系	大卒+技術系	卒業+職業
大卒事務系	大卒+事務系	卒業+職業

図 29 「系男子」典型例 複合語の分析

系の語基	語基の分解	分析
高校卒事務系	高校卒+事務系	卒業+職業
高卒技能系	高卒+技能系	卒業+職業
高卒事務系	高卒+事務系	卒業+職業
国文大文系	国文大+文系	教育機関+専門
大学生文系	大学生+文系	学生+専門
大卒技術系	大卒+技術系	卒業+職業
大卒事務系	大卒+事務系	卒業+職業
大卒文系	大卒+文系	卒業+専門
大卒理系	大卒+理系	卒業+専門
他大文系	他大+文系	教育機関+専門
短大卒事務系	短大卒+文系	卒業+専門
土木工学系	土木+工学系	職業+専門

図 30 「系女子」典型例 複合語の分析

単体に関しては事務や販売などの職業、理系や文系などの専門科目、男系や直系などの血筋を表すものに分類できた。これらは全て「関連のある 1 つのまとまった体系」という、「系」が元々持っている字義を表すものが語基として結合している。

それを踏まえて複合を見ると、職業や専門を基礎として、高校卒や大学卒といった、どの教育機関を卒業し、どの職業に就いたのかを表す語基が男女ともに圧倒的な数を占めている。この語基が初めて新聞に掲載されたのは、調査開始年の 1988 年。当時世の中はバブルの絶頂期であり、高校生、大学生の就職先に注目が集まった時期であった。当然新聞でも、彼らがどのような会社に就職するかを調査しており、高校を卒業したのか、大学を卒業したのかを分類するため、高校卒、大学卒といった「卒業」に関するものが、事務や技術など、

職業に関する語基に結合したと推測する。

つまり、上記の表で複合に分類した語基の多くは、単体に分類した語基に新たなカテゴリーを加えたものだと説明できる。

次に新造語を分析する。新造語については「名詞」「動詞」「形容」「副詞」「句・文」の5つに分類した。以下に分類する基準を示す。

- ・名詞…典型例を除いたものうち、名詞と判断できるもの
- ・形容…典型例を除いたものうち、形容詞あるいは形容動詞と判断できるもの。
- ・動詞…典型例を除いたものうち、動詞と判断できるもの。「燃焼」「乾燥」など、「する」を結合させることで動詞となる動作名詞もこちらに加える。
- ・副詞…典型例を除いたものうち、副詞と判断できるもの。
- ・句・文…典型例を除いたものうち、句や文相当のものと判断できるもの。

まず男女合計の語基の数は、名詞が62個、形容が10個、動詞が15個、副詞が2個という結果になった。

名詞は後ほど分析するので、まず形容から分析する。

系の語基
可愛い系
クリーミー系
コンサバ系
チャラ系
まじめ系

図 31 系男子 形容の語基

系の語基
お洒落系
オシャレ系
ガーリー系
地味系
ナチュラル系

図 32 系女子 形容の語基

形容が語基となったものは、形容詞は2個、形容動詞は8個であった。

形容詞や形容動詞という品詞は、そのものがどのような性質をもつか、ということを説明する語である。例えば、表にある「チャラ系男子」は「チャライ男子」でもよいはずである。従って「系」を用いる必要はない。では、なぜ「系」に形容詞、形容動詞を結合させ、あえて「チャラ系男子」という使い方をするのか。

この現象に関しては、中島(2010)の「系」の意味の「①新しいカテゴリーを名付ける」「④発話内容そのものの曖昧化」で説明することが出来る。「チャライ男子」など、「形容詞・形容動詞+名詞」という組み合わせは「チャラ系男子」に比べて直接的な表現なのである。しかし形容詞・形容動詞に「系」を結合させることで、中島(2010)の「①新しいカテゴリーを名付ける」という過程を経て男子を「チャライ」というカテゴリーに振り分ける。これによって、間接的な方法で男子が「チャライ」という性質を持っていることが言えるのである。つまり、形容詞、形容動詞に「系」が結合するのは、直接的な形容を避ける表現が見受けら

れる。

それを踏まえて「系男子」から分析する。語基を見ると、性格に関するものが多く見受けられる。これは上述した通り、男子の性格に関して直接的な形容を避けて曖昧化、かつ、新たなカテゴリーへと男子を振り分けている。

「系女子」に関しては、お洒落、ガーリー、ナチュラルなど、女性の見た目に関するものが多い。これらは元々、「女子」という大きなカテゴリーを構成する要素の1つである。つまり、女子という大きなカテゴリーの構成員に焦点が当たっている。お洒落、ガーリーを例にすると、もちろん女子であるが、その中でも特にファッションが「お洒落」である、「ガーリー(女の子らしい様子)」である、メイクが「ナチュラル」であるという特徴に焦点が当たっている。これは中島(2010)の「③カテゴリーの再解釈」で説明できるのではないか。

小さな構成員に焦点が当たることで、男子あるいは女子という大きなカテゴリーがどのような性質なのか、ということを変更して解釈している、いわば、「男子らしさ」「女子らしさ」の再解釈なのである。

それを踏まえると、お洒落、ガーリー、ナチュラルは「女子らしさ」の再解釈の例といえるだろう。

続いて、動詞について分類する。

系の語基	分類
看護系	動作
魚食系	動作
装飾系	動作
釣り系	動作
燃焼系	動作
モテ系	動作

図 33 系男子 動詞の語基と分類

系の語基	分類
格闘系	動作
乾燥系	変化
頑張る系	動作
ゴミ拾い系	動作
草食系	動作
疲れる系	変化
萌え系	状態
モテ系	状態

図 34 系女子 動詞の語基と分類

「系男子」から見ると「～食(飾)」という語基が多く見受けられる。これは「草食系男子」に影響を受け、このような形が多くなったと考えられる。「系女子」に関してはその傾向は見られなかった。

また動詞を分類してみると、ほとんどが動作動詞に分類される。動作動詞は、「～ている」という形になると、動作がまさに進行していることを表す。そこに「系」が結合することで、男子・女子が「その行動を行っている状態」を切り取り、それを「系」を用いてあえてカテゴリー化し、その動作をする人としらない人との「対比」を行っているのではないだろうか。

「系女子」には変化、状態が含まれているが、それぞれ「動作の変化の結果」、「その状態」

を切り取り、「系」を用いてカテゴリー化、その上で「対比」を行っている。

次に副詞だが、「ゆっくり」と「ゆるふわ」の 2 個のみだった。加えて副詞は「系女子」にのみ見受けられた。

副詞とは、本来動詞や形容詞を修飾するものであって、名詞を修飾することは、文法上することはない。だが、今回の用いられ方が副詞ではなく、意味を考えると「(動作などが)ゆっくりしている」「ゆるふわな(服)」といった動詞を伴った用法、あるいは形容動詞的な用いられ方がされているため、副詞単体で結合することはないようだ。

最後に「首痛めてる」を見ていく。これは文相当のものが「系」に結合しており、主語と述語の関係にある組み合わせになっている。

「首痛めてる系」とは、モデルやアニメのキャラが首に手を当てているポーズが、まるで首を痛めているように見えることから名付けられた。中島(2010)の分類でも、これらは「①新しいカテゴリーを名付ける」に当てはまるだろう。

このように典型例においては「系」の字義通り、「1 つの関連があるカテゴリー」でまとまっていたが。しかし品詞での分類では、字義から外れて新たなカテゴリー分けや曖昧化、カテゴリーの再解釈、カテゴリーに含まれていない人との対比が含まれていることが分かった。

### 3.4.2 名詞 単体・複合の分析

次に名詞を 2 段階に分けて分類する。まずは名詞がこれ以上分けられない単体か、いくつかの語に分けられる複合かどうか見ていき、複合がどういった語から構成されているか分析する。

系の語基	分類	系の語基	分類	系の語基	分類
アート系	単体	スイーツ系	単体	ロールキャベツ系	単体
アキバ系	単体	草食系	単体	オラにゃん系	複合
オタク系	単体	体育会系	単体	偽装草食系	複合
乙女系	単体	直球系	単体	走力系	複合
果実系	単体	肉食系	単体	脱・草食系	複合
柑橘系	単体	ネコ系	単体	超・肉食系	複合
技能系	単体	福祉系	単体	東大理系	複合
経済系	単体	保育系	単体	非モテ系	複合
ジャニーズ系	単体	野球系	単体		
植物系	単体	柳系	単体		

図 35 系男子 名詞の語基と単体・複合の分類

系の語基	分類	系の語基	分類	系の語基	分類
アジア系	単体	ゴスロリ系	単体	ブランド系	単体
兄貴系	単体	山岳系	単体	負け犬系	単体
アルペン系	単体	住職系	単体	ものづくり系	単体
医療系	単体	スピード系	単体	ロールキャベツ系	単体
運動部系	単体	炭系	単体	「モテ」系文化系	複合
映画系	単体	草食系	単体	元祖・肉食系	複合
オタク系	単体	体育会系	単体	元祖肉食系	複合
お日様系	単体	男子系	単体	全身理系	複合
技術系	単体	土木系	単体	東池袋系	複合
ギャル系	単体	肉食系	単体	ひねくれ文化系	複合
コギャル系	単体	農系	単体		

図 36 系女子 名詞の語基と単体・複合の分類

系の語基	分解	追加の意味の品詞	既存の語基
オラにゃん系	オラ(オラ)+にゃん(にゃん)	なし	なし
偽装草食系	偽装+草食	動詞	草食系
脱・草食系	脱+草食	漢語系接辞	草食系
超・肉食系	超+肉食	漢語系接辞	肉食系
東大理系	東(京)大(学)+理	名詞	理系
非モテ系	非+モテ(る)	漢語系接辞	モテ系

図 37 系男子 名詞・複合の分析

系の語基	分解	追加の意味の品詞	既存の語基
「モテ」系文化系	「モテ」+文化	動詞	文化系
元祖・肉食系	元祖+肉食	名詞	肉食系
元祖肉食系	元祖+肉食	名詞	肉食系
全身理系	全身+理(系)	名詞	理系
東池袋系	東+池袋	名詞	池袋系
ひねくれ文化系	ひねくれ+文化	動詞	文化系

図 38 系女子 名詞・複合の分析

単体に関しては後ほど分類をしていくので、複合を見ていく。

複合を分解してみると、多くが「追加の意味+既存の語彙」という形をとっている。例えば「全身理系」だが、基礎となる「理系」という語彙があり、そこに「全身」という追加の意味が結合して、新たなカテゴリーを生み出している。

先程の典型例でも同じように「追加の意味+既存の語彙」という形であり、ほとんどが学生を対象としていた。しかし、名詞の複合を見ると、学生が対象とは言い切れない。

次に、「追加の意味+既存の語彙」という形をとっていない語を見ていくと、「オラにゃん系」がそれに当てはまる。語を分解すると「オラオラ」と「にゃんにゃん」というどちらも副詞の組み合わせとなっている。

既存の語基に関しては、次の名詞で分析をする。

### 3.4.3 名詞 単体の分析

名詞は語基の種類によって 11 個に分類した。この分類では、語基がどのような意味で新聞・雑誌に用いられているかは考慮せず、あくまで名詞がどの種類に分類されるかということに重きを置いている。

- ① 国名・地名→名詞の中でもある国や地名、地域の名前が語基
- ② 人物→名詞の中でも人を指す名称が語基
- ③ 動物→名詞の中でも動物の名前が語基

- ④職業→名詞の中でも職業の名前が語基
- ⑤物→名詞の中でも物質などが語基
- ⑥料理・食べ物→名詞の中でも料理や食べ物が語基
- ⑦スポーツ→名詞の中でもスポーツに関するものが語基
- ⑧自然→名詞の中でも自然に関するものが語基
- ⑨趣味・趣向→名詞の中でも趣味・趣向に関するものが語基
- ⑩固有名詞→名詞の中でも固有名詞が語基
- ⑪事柄→名詞の中でも抽象的な物事を指す語基

系の語基	分類	系の語基	分類	系の語基	分類
アキバ系	国名・地名	柑橘系	料理・食べ物	アート系	趣味・趣向
乙女系	人物	スイーツ系	料理・食べ物	オタク系	趣味・趣向
ネコ系	動物	ロールキャベツ系	料理・食べ物	ジャニーズ系	固有名詞
福祉系	職業	体育会系	スポーツ	技能系	事柄
保育系	職業	野球系	スポーツ	経済系	事柄
直球系	物	植物系	自然	草食系	事柄
果実系	料理・食べ物	柳系	自然	肉食系	事柄

図 39 系男子 名詞の語基とその分類

系の語基	分類	系の語基	分類	系の語基	分類
アジア系	国名・地名	ブランド系	物	オタク系	趣味・趣向
兄貴系	人物	ロールキャベツ系	料理・食べ物	ゴスロリ系	趣味・趣向
ギャル系	人物	アルペン系	スポーツ	技術系	事柄
コギャル系	人物	運動部系	スポーツ	草食系	事柄
住職系	人物	スピード系	スポーツ	肉食系	事柄
男子系	人物	体育会系	スポーツ	農系	事柄
医療系	職業	お日様系	自然	負け犬系	事柄
土木系	職業	山岳系	自然	ものづくり系	事柄
炭系	物	映画系	趣味・趣向		

図 40 系女子 名詞の語基とその分類

分類を概観したところで、1つずつ見ていく。

まず①国名・地名だが、これは「①新しいカテゴリーを名付ける」に当てはまる。アキバ系などは特に、その地域で有名な物やその地域で想起されるイメージ(アキバでいうとオタクの聖地)がそのまま男子あるいは女子のイメージ付けとなっている。

次に②人物だが、これらは「②カテゴリーの再解釈」に当てはまる。特にギャル系、コギャル系は女子という大きなカテゴリーの構成員であり、そこに焦点が当たっている。つまり、小さなカテゴリーに焦点を当てることで、構成されている大きなカテゴリーがどのようなものかということをもう一度見直す、という現象が起こっている。

乙女系、兄貴系など、本来であればそれぞれ乙女は女子、兄貴は男子という大きなカテゴリーの構成員だが、乙女系は「系男子」、兄貴系は「系女子」の語基となっている。しかし、乙女=女性、兄貴=男性というのは偏見であり、そういった男子、女子がいてもよいのである。乙女が持つ「か弱い」というイメージを持つ男子、兄貴が持つ「力強い」イメージを持つ女子。これらも「②カテゴリーの再解釈」と考えてよいだろう。

③の動物に関しては、元々人を表すものではない。しかし、ネコが持つ「気まぐれ」という性格と、特定の人物の性格が一致、あるいは近接していたためである。これは類似性を基にした比喩表現なので「メタファー」の例となるだろう。

④の職業に関しては、例として医療系を挙げると、医療といえば医師が行うものだが、そこに「系」が結合することによってカテゴリーが含む範囲が広くなり、医療事務などの医療に関係する(=医療の周辺にある)、ととることができる。語基として抽出された福祉、保育、土木も、仕事を直接的ではなく間接的に指し、かつその周辺にある職業というイメージが持たれる。これらも同様に「③周辺的な構成員」ということができる。

次に⑤物を見ると、直球や炭、ブランドといったものが挙げられた。これらの言葉が掲載されていた記事を見ると、それぞれ「直球(で何かを言う)」、「炭(を使った生活)」、「ブランド(身に着けた人)」と、その人物の特徴を切り取った上でカテゴリーに分類し、そうでない人との対比を行っているのではないか。

⑥の料理・食べ物も、⑤物と同様人を表すものではない。それぞれの言葉の意味を記事の内容と照らし合わせて見ると、柑橘系は柑橘を育てている農家を指し、これは「①新しいカテゴリーの名付け」に当てはまる。次にスイーツ、ロールキャベツを見ると、スイーツはスイーツのように甘い性格、ロールキャベツは外側がキャベツ=草食だが、中身は肉=肉食という性格を表している。つまり、料理に持つ何らかのイメージをその人の性格に当てはめて、プラス、マイナスに関わらず何らかの評価付けをしていると考えられる。これらも柑橘系と同様、「①新しいカテゴリーの名付け」、あるいはスイーツ=甘い=甘い性格などの近接性から「メタファー」ともすることが出来る。

⑦スポーツはアルペン系、運動部系、スピード系、体育会系はそれぞれスキーの部門、スケートの部門、運動部という「関連のある1つのまとまった体系」ということができる。この3つに関しては典型例のような用いられ方がされている。記事の内容を見ると、野球に関しては典型例のようなことがいえないため、「①新しいカテゴリーの名付け」に分類できる。

⑧の自然も、⑤物⑥料理・食べ物同様に本来であれば人を表すものではない。しかし、植物系は「見た目が細く、全く動かない」人物、お日様系は「明るくパワーがある」人物と、

人の性格あるいは見た目を、自然を用いて表しているのだ。これらはそれぞれ近接性で比喻した「メタファー」ということができる。

山岳系は山歩きを趣味にしている人たちのことであり、そうでない人との対比的なイメージがわく。

⑨の趣味・趣向も先程の山岳系と同様、それを趣味や趣向にしていない人との対比的な意味も含まれている。

⑩の固有名詞は、新聞では「服装」に用いられていた。これは「ジャニーズ系(の服装をした)男子」と言いかえることができる。ジャニーズの持っている派手さ、かっこよさと服装のかっこよさが近接しているので、「メタファー」の例といえるだろう。

⑪の事柄は、技能、経済、技術、農、ものづくりは元々カテゴリーを形成しているものではない。それらに「系」が結合することで、「①新たなカテゴリーの名付け」をしているといえる。

負け犬系に関しても「①新たなカテゴリーの名付け」に分類できるだろう。

このように語基を分類していくと、典型例では学業や仕事の専門に関するカテゴリーが語基に結合し、その人物がそのうちのどこに所属しているのか、あるいはしていたのかを表すものが圧倒的に多かった。

が、典型例を除いた品詞を分類していくと、その人物がどのような人物なのかを、世の中にあるありとあらゆるものを語基に結合させることで表現した。典型例と大きく意味合いが変化した。が、典型例が持つ、「その人物がどこに所属しているのか」という流れは消えていない。

語基を分析した結果、典型例とは異なるものが語基に結合していた。それらを意味によって分析すると、中島(2010)が示した系の新造語の4つの意味に分類することが出来た。そしてほとんどがこれに当てはまった。が、新たに「語基を持っているものと持っていないものとの対比」を行うため、あるいは語基と男子、女子の近接性を比喻する「メタファー」的な表現に「系」を用いるという、中島(2010)の分類には当てはまらない、新しい意味のものが2つ、分析の結果から見つかった。

#### 4. 「草食系男子」の派生語

年代、語基の2つの方法で「系男子」「系女子」に結合する語を分析した。次は「系」ではなく「草食系男子」から派生した語を分析する。

「草食系男子」は「系」に結合する語基に大きな変化を与えたことは先程の分析で明らかになったが、その中で3つ特徴的なものがある。

1つは「草食」という音から派生した語基だ。動詞の分類で述べた「装飾」は、「草食」と音が同じであり、身を着飾った(装飾した)人であるということがいえる。それを、当時流行した「草食」の同音異義語から作られたと考える。

次に字義から派生した2種類の語基を見ていく。

元々「草食系男子」の定義は「恋愛やセックスに積極的ではない男性」だ。しかし文字通りに解釈すると、「草を食べる男子」である。

まずは「草食」の「食(べる)」から派生した語基を見る。詞の分類で「魚食」という語基について述べた。「草を食べる」ということから、「何かを食べる」ということを連想させ、野菜(草)、肉、そして魚が語基として見ることができた。

「草食系女子」という語も恋愛に関するものではなく、当時食肉に関する病気が多くあったため、仕方なく野菜を食べるしかない、という意味で使われていたのである。加えて人間だけではなく、ペンギンやゴリラなど動物にまで使われていた。

また、ロールキャベツなど、具体的な料理名まで挙がっていた。「系男子」「系女子」は結合していなかったが、ロールキャベツの対義語としてアスパラベーコン(外側=肉=肉食、内側=野菜=草食から、外見が肉食に見えて、内側は草食である人を指す)も抽出された。つまり「食材/料理名+系+男子/女子」という派生語が生まれた。

次に「草食」から連想された言葉が語基になったものを見る。名詞の語基には1つだけだが「ネコ」という語基があった。人間を動物で表すのは、その動物の性格と人物の性格の近接性から比喩した「メタファー」と説明した。加えて、「草食=草食動物」ということから、「動物名+系+男子/女子」という派生語が生まれたと推測する。

## 5. 結論

「草食系男子」の掲載により、漢語系接辞「系」に結合する語基に大きな変化があった。

まず年代の分析では、調査対象の年代を「草食系男子」が掲載される以前、掲載される前後、掲載された後の3つに区切り、それぞれどのような語基があるのかを見た。

「草食系男子」が掲載される以前は学生を指す典型例が大半だったが、「草食系男子」が掲載される少し前から新造語が見受けられ、掲載されて以降、新造語が圧倒的な数を占めるようになった。

結合した語基も典型例では卒業した教育機関や職業など、ある程度決まっていたが、新造語に関してはそのようなことはなく、名詞、動詞など様々な語基の結合が見られた。

次に結合した語基を(1)典型例と新造語(2)単体か複合か(3)名詞の種類分けという3つの段階を経て分析した。新造語に関しては名詞、動詞、形容(形容詞、形容動詞)、副詞に分類することができ、漢語系接辞の造語力の強さを明らかにした。

複合の分析に関しても、いくつかの例外があったが、基礎の語基があり、それに追加の情報(新たな語基)が結合するというパターンは、典型例と新造語どちらも共通だった。

また、新造語に関しては中島(2010)の新造語の4つの意味に加えて「対比」、近接性を比喩した「メタファー」という新たに2つの分類を発見した。

次に「草食系男子」の派生語として特徴的なものが3つあり、「草食」の同音異義語を使ったもの、字義から派生した食べ物を表すもの、動物名に派生したものが挙げられた。

## 6. 終わりに

今回抽出された「系」の派生語は「男子・女子」が対象であり、「草食男子」が掲載された「U35 男子マーケティング図鑑」という通り、対象は全年齢ではなく、「35 歳以下」と限定されているのである。加えて、「草食男子」を名付けたのは、U35 の世代ではなく、それより上の世代なのである。

山梨(2012)は「われわれは、外部世界の対象に関し何らかのイメージを作り上げ、このイメージを介して外部世界の対象を把握している」と述べた。つまり、私たちが何か知らないものを把握する際、何らかのイメージを通してそのものを理解する、というプロセスがあるということだ。

つまり「草食男子」という言葉が生まれたきっかけとして、「男性＝力強い」という等式に当てはまらない男性が出現したことにある。その等式に当てはまらない男性こそ、今回の調査の大きな柱となった「草食系男子」なのである。

「男性＝力強い」というものはあくまでステレオタイプであり、そうでない男性は必ずいる。しかし U35 より上の世代は、そういった「か弱い男子」など存在しないと信じられていたのである。深澤も先程のコラムの中で、深澤が 20 代の頃に出席した出版社の会議で、参加していた 50～60 代の男性は「草食男子」がこの世に存在するなどということは、考えることもできなかつた」と述べている。

つまり彼らにとって「か弱い男子」という世界は「外部世界」であり、知る由もなかつたのである。それを理解するための手がかりになったものが「草食系男子」だったのである。

このプロセスは何も「草食系男子」に始まったわけではなく、団塊の世代と団塊ジュニアの世代に生まれた、今までとは違う新しい価値観を持った世代を「新人類」と名付けるなど、例は多くある。

そのプロセスの一環として、新造語として抽出された「系男子」および「系女子」は、U35 世代より上も含め、私たちが知らない「外部世界」を知るための手がかりとして、語基に現れているのではないかと考察する。

「系」の字義は「関連のある 1 つのまとまった体系」であるが、外部世界を知る手がかりという点で考えると、新造語の「系男子」および「系女子」も「今までの枠に当てはまらない男子/女子」というまとまった体系として表すことができるのではないか。

### 引用

<sup>1</sup> 森岡正博 2011 『「草食系男子」の現象学的考察』大阪府立大学 p.16

<sup>2</sup> 深澤真紀 2006 『日経ビジネスオンライン』U35 男子マーケティング図鑑 第 5 回 草食男子 <http://business.nikkeibp.co.jp/article/skillup/20061005/111136/?rt=ocnt>(2016 年 9 月 27 日閲覧)

<sup>3</sup> 森岡正博 2011 『「草食系男子」の現象学的考察』大阪府立大学 p.17

<sup>4</sup> 森岡正博 2011 『「草食系男子」の現象学的考察』大阪府立大学 p.17

#### 参考文献

- ・加納千恵子 1990 「漢字の接辞的用法に関する一考察（4）－AJN 化機能をもつ漢字について－」『文藝言語研究 言語篇』第 20 号 筑波大学
- ・曾睿 2012 「接辞性字音語基の造語力－「者」「家」「人」を対象として－」『言語科学論集』第 16 号 東北大学
- ・中島晶子 2010 「新造語における「度」「系」「力」の用法」大島弘子ほか編『漢語の言語学』くろしお出版
- ・水野義道 1987 「漢語系接辞の機能」『日本語学』第 6 卷 2 号 明治書院
- ・森岡正博 2011 「「草食系男子」の現象学的考察」『The Review of Life Studies』第 1 号 大阪府立大学
- ・山下喜代 2013 「接辞性字音形態素の造語機能」野村雅昭 編『現代日本漢語の探究』東京堂
- ・山梨正明 2012 『認知意味論研究』 研究社

#### 参考サイト

- ・深澤真紀 2006 『日経ビジネスオンライン』U35 男子マーケティング図鑑 第 5 回 草食男子 <http://business.nikkeibp.co.jp/article/skillup/20061005/111136/?rt=ocnt>(2016 年 9 月 27 日閲覧)